

わたしは  
わたしの人生から  
出ていくことはできない  
ならば ここに  
花を植えよう

(工藤直子「花」より)



以前はこの時期になると校内のあちこちにムラサキケマンが花を咲かせていました。今は、主事さん方がとても熱心に草取りをしてくださるので、こうした野草が野放図に生い茂ることはほとんどありません。主事さん方のご努力には頭が下がる一方、野草好きの私としては少々寂しくもあるところです。

さて、そのケマンですが、「華鬘」と書いて、聞けばインド由来の言葉だそうです。その漢字からも類推できますが、花飾りのことです。日本でも、タンポポやクローバーの花などを編んで首にかけたりしますが、インドでは生花を編んで大きな花輪にし、仏像の首や腕に掛けたのだそうです。そして、色が紫色なのでムラサキケマンと呼ばれています。黄色だとキケマンということになり、こちらもかなりの頻度でよく見かけます。

この植物は、少々複雑な成育過程を歩みます。種子は6月頃に成熟し、翌年の春に発芽します。ここまでは通常通りですが、この先が特異です。その後、初夏まで成長した後、盛夏の間は地上部が枯れ、地下に団子状の塊茎を残して過ごすこととなります。そして、これが再び活動するのはその年の秋で、数枚の葉を出して年を越します。この時、枯れたような茶色っぽい葉を地面に平らに広げて越冬するのですが、誰もその存在に気付くことはないでしょう。きっと何気なしに踏みつけているに違いありません。2年目の春を迎えると、勢いを増して30cmほどに生長します。茎は太く柔らかですから、ちょっと強い雨が降ると茎はたやすく倒れます。それでもまた太陽が射し始めるとすぐに元に戻ります。たとえ1本では弱くても、群生して仲間がいるとすぐに立ち上がる花だからでしょう。ムラサキケマンの花言葉は「あなたの助けになる」です。そう、手前勝手な発想ですが、私には、今の危機的な状況を生きる、我々の心の在り方を象徴し叱咤するにふさわしい花なのではないかと思えて仕方ありません。

蛇足ながら、英国紳士の不可欠な条件は花の名を知っていることだそうです。言うまでもありませんが、紳士とは「ジェントルマン」のことであり、その名の通り「優しい男」のことです。この「優しさ」の語源は「瘦せし」です。自らの身を削り「瘦せた身」になって相手に接することにその謂れがあるのです。過剰な豊かさ、身に余る贅沢は優しさを生み出しません。この苦境を自らの飛躍のバネと捉えるように示唆しているのです。さらに、花を知ることは、自然のもつ心を知るのだと言っているのだと思います。ひいては、精一杯けなげに咲いている野の花のことを知ろうとする、優しい人間になって欲しいとも思います。

最後に、巻頭の詩について改めて考えてみましょう。人生は時に過酷で、どうあがいても出ていくことが出来ない不条理を感じることがあります。そんな時に、人生



から出ていくのではなく、「花を植えよう」という言葉を与えてくれています。しっかりと人生に根をはり、彩りを添える、そんな静かな決意を感じます。何だか勇気が湧いてくるとともに、顔を上げてしっかりと歩んでいこうという気持ちになれます。この苦境の時に、私たちはどんな花を植えましょうか。



# 休校期間中の 学習課題について

休業期間中の学習課題についてお知らせします。週ごとの区分は一応の目安とお考え下さい。

	4/13～4/19	4/20～4/26	4/27～5/3	5/4～5/6
国語	言葉のきまり (1) 漢字ドリル ←	言葉のきまり (2)	言葉のきまり (3) 漢字ドリル	5年生の漢字 (5枚) 教科書音読 (~P43)
社会	5年生の復習 (1)		5年生の復習 (2)	教科書音読 (~P47)
算数	文章題 (1)	文章題 (2)	教科書音読 (~P18) 線対称 & 点対称	教科書音読 (~P23) 多角形と対称
理科		5年生の復習 (1)		5年生の復習 (2)
その他	音楽「カノン」 ← 読書 ← 刺繍デザイン ← アルファベット練習		英単語練習帳 (1)	音楽「カノン」 読書 刺繍デザイン

※漢字ドリルは、自主的な取り組みです。自分のペースでできる範囲で構いません。

5年生の漢字 (5枚) は解答がありませんが、辞書を引いて、自分で答え合わせをします。

「線対称」「点対称」「多角形と対称」プリント集は、学校再開後、授業中に答え合わせをします。

その他の冊子は全て解答集があります。自分で答え合わせをすることが大切です。

読書に関しては、区立図書館が貸し出し休止となりましたので、できる範囲で取り組みます。



入学式 (4/6) 「児童代表の言葉」での様子から